

科目名 (科目番号)	解剖学 (101101)	教員名 當銘 良也	学科等	臨床検査	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		前期金3.4 後期金1.2	B207研究室	
授業概要	生命の最小単位である細胞から、60兆個もの細胞が構成する人体まで、私達の身体がどのような構造をし、それぞれの器官が互いに連絡しているかを理解する。教科書に沿って細胞、細胞が集まってできる組織、組織が集合してできる各種の器官の順に授業を進めていく。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	総論	到達目標: 器官と系統、組織と細胞、人体の外形と方向用語を理解する。 学習内容: 器官と系統、組織と細胞、人体の外形と方向用語を学習する				
	2	骨格系	到達目標: 骨格の名称、骨の構造、関節の構造と働きを理解する。 学習内容: 骨と関節の構造と働きを学習する。				
	3	筋系	到達目標: 筋のかたち、種類と構造、働きを理解する。 学習内容: 筋のかたち、種類と構造、働きを学習する。				
	4	脈管系1	到達目標: 心臓と構造と働きを理解する。 学習内容: 心臓と構造と働きを学習する。				
	5	脈管系2	到達目標: 動脈と静脈系の構造と機能を理解する。 学習内容: 動脈と静脈系の構造と機能を学習する。				
	6	脈管系3	到達目標: 胸腺、脾臓、リンパ節の構造と機能を理解する。 学習内容: リンパ系の構造と働きを学習する。				
	7	消化器系1	到達目標: 口腔内組織、食道、胃の構造と働きを理解する。 学習内容: 上部消化管および消化器の構造と働きを学習する。				
	8	消化器系2	到達目標: 十二指腸、小腸、大腸、肝臓、膵臓の構造と働きを理解する。 学習内容: 下部消化管、肝臓、膵臓の構造と働きを学習する。				
	9	呼吸器系	到達目標: 鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管と気管支、肺の構造と働きを理解する。 学習内容: 呼吸器系の構造と機能を学習する。				
	10	泌尿生殖器系	到達目標: 腎臓、尿管、膀胱、男性・女性生殖器の構造と機能を理解する。 学習内容: 泌尿器および生殖器の構造と機能を学習する。				
	11	内分泌系	到達目標: 下垂体、甲状腺、上皮小体、副腎の構造と機能を理解する。 学習内容: 内分泌臓器の構造と機能を学習する。				
	12	神経系1	到達目標: 大脳、小脳、間脳、中脳、橋、延髄、脊髄の構造と機能を理解する。 学習内容: 中枢神経系の構造と働きを学習する。				
	13	神経系2	到達目標: 大脳、小脳、間脳、中脳、橋、延髄、脊髄の構造と機能を理解する。 学習内容: 中枢神経系の構造と働きを学習する。				
	14	神経系3	到達目標: 脳性神経、脊髄神経の分布と働きを理解する。 学習内容: 末梢神経系の分布と働きを学習する。				
15	発生学のあらし	到達目標: からだはどのように造られるか理解する。 学習内容: からだはどのように造られるか学習する。					
成績評価の方法・基準	試験100%						
教科書	入門人体解剖学 改訂第5版		藤田恒夫		南江堂		
参考図書	入門組織学 改訂第2版		牛木辰男		南江堂		
教員からのメッセージ	講義範囲が広範に渡ります。配布資料と教科書の予習をして授業に臨んで下さい。						